

特別支援教育 あとばいすタイム

サークルズ®カリキュラム
～人との関係性と境界について学ぶ～
実践編

The screenshot shows the homepage for the 'Circles' curriculum by James Stanfield. The page features a dark purple background with colorful, overlapping circles. Text on the page includes: 'James Stanfield MENO', 'Circles® CURRICULUM', 'Teach your students the Circles rules of social boundaries', 'WHAT IS CIRCLES', 'ELEMENTARY EDITION NOW AVAILABLE!', and 'Thank you for developing such an'. There are also several award logos: 'MOST WIDELY USED Video Series in Special Education', 'PROVEN EFFECTIVE Harvard University', and '#1 National Best Seller'. A central illustration shows three people (two women and one cartoon character) standing around a large circle with labels like 'FAR AWAY', 'BIG HUG CIRCLE', and 'PRIVATE SPACE'. A 'ヘルプ' (Help) button is visible in the bottom right corner.

おさらい



障がいの「医療モデル」から「社会モデル」への転換へ

→こどもたちが抱えている課題を環境から捉えなおす

予防学習が大切!!

対象

- 知的障がい
- 発達障がい
- メンタルヘルスに問題を抱える人たち



ポイント①

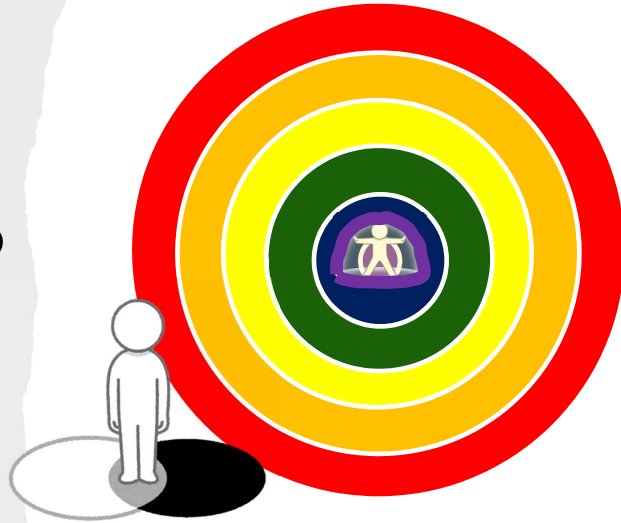
自分だけの
紫色サークル
(境界)



A screenshot of a website for 'Circles' curriculum. The website has a purple and red color scheme. At the top left is the 'James Stanfield' logo. The main content area features a large graphic with a yellow stick figure inside a purple circle, surrounded by other circles in various colors. Text on the page includes 'Circles CURRICULUM', 'Teach your students the Circles rules of social boundaries', 'WHAT IS CIRCLES', 'ELEMENTARY EDITION NOW AVAILABLE!', and 'Thank you for developing such an'. There are also several award badges: 'MOST WIDELY USED Video Series in Special Education', 'PROVEN EFFECTIVE Harvard University', and '#1 National Best Seller'. A 'ヘルプ' (Help) button is visible at the bottom right.

ポイント②

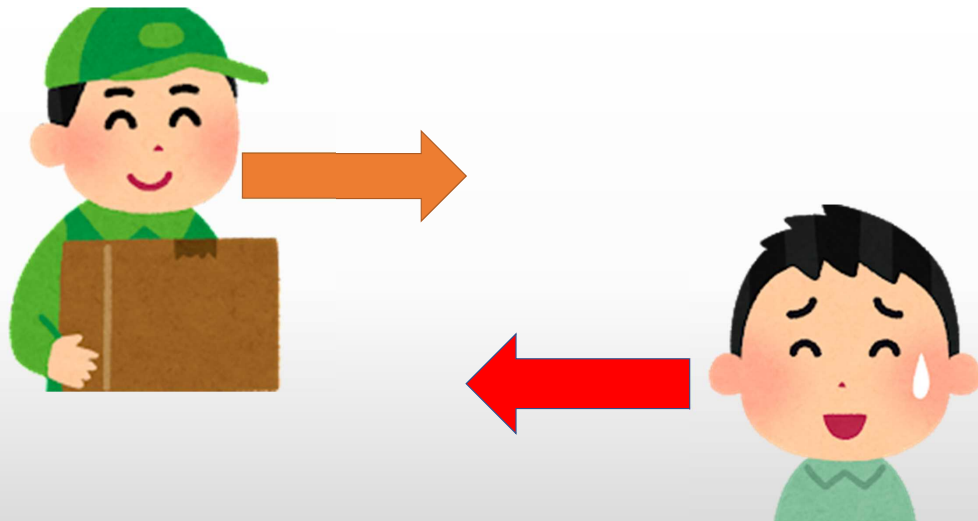
- 色を手掛かりに人と関わるときのヒントを学ぶ



ヒント

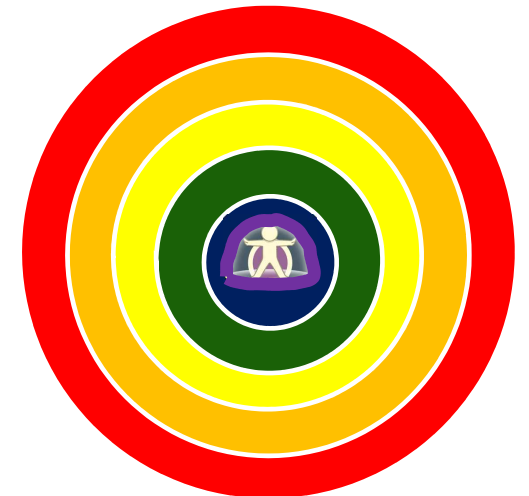
- 話す内容
- 触れる方法
- 信頼の度合い

数の割合	信頼性	こちらのふれあい	からのふれあい	
大切な自分	自分にとって一番大切な存在。自分のことは自分で決める権利を持つ。誰も勝手に踏み込んではいけないゾーン。			
1人〜	身体的にも精神的にも自分に最も近い存在。一緒にいて安心できる人。	プライベートな部分も話す失敗や通ちも受け入れる	キョッと閉さしめる。キスする。お互いの顔を見ることもある。相手が何となく視線が合う。	
2人〜	親友 親戚	相手のパーソナルの人よりも身体的接触が少ない。信頼できる人。	プライベートな話題をする。新しい服装を褒めてもらったりおげんかきしても仲直りできる。秘密を打ち明けられる。	軽い挨拶。肩を組む。相手を腕を組む。顔を覗かれる。視線が合う。
3人〜	友だち 先生 上司 先輩など	プライベートと一緒に出かける。職場の話を話す。メール、LINEのやりとり。軽い飲み会をする。ため口で話すことを認める。おげんかきする。	握手する人。ハイタッチ。顔を覗くなど限定。顔には触れない。身体接触はない。	
4人〜	クラスメート 先輩後輩 同僚 店員の人 知っている人など	天気の話や時事問題などさしさわりのない話をする。予定のことを一緒にする（勉強、仕事など）。メールLINEのやりとりを基本的にはしない。	手を握る。顔には触れない。触れさせない。握手など小さな面で触れることもある。視線がある。	
5人〜	知らない人 店員 修理工の人 宅配の人など	必要なことだけ話す。挨拶だけする。触れたことはあるが、意図が強い人を利用するだけのかわりがない人。	顔には触れない。触れさせない。お互い手を伸ばしても届かないくらい離れているべき。視線しても失礼ではない。	



ポイント③

- 自分がどのように振舞うかを学ぶ
- 境界を意識し、相手の行動にノーを言える



1

おさらい

2

チャットタイム

3

授業計画

4

質疑応答

①ご自身の所属

例) 小学校 特別支援学級

例) 中学校 発達が心配な生徒の担任

+

②前回は振り返ってみて、今感じていること

3

授業計画

4

質疑応答

自立活動

- 心理的な安定
- 人間関係の形成
- 環境の把握
- 身体の動き
- コミュニケーション

■学習をパッケージ化する

1. おはなしタイム
2. 今日の学習
3. まとめプリント

■ 20分から30分の学習でOK

第1段階 概念を学ぶ

1	オリエンテーション、プライベートゾーンとは
2	パーソナルスペース(私だけの紫色サークル)
3	いやという練習
4	サークルズ®とは、私の周りにいる人ってだれ?
5	マイ・サークルズを作ってみよう
6	赤色サークルの人って?
7	オレンジ色サークルの人って?
8	黄色サークルの人って?

第1段階 概念を学ぶ

キーワードは、

「体験的に学ぶ」

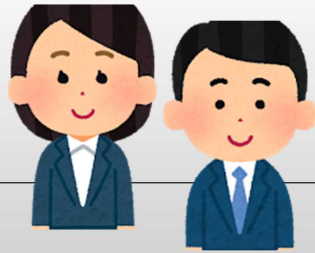
第1段階 概念を学ぶ

- 子どもたちに伝えたことを大人が普段の生活でも活用していく
- 大人がロールモデルを示す
- 子どもが体感する中で獲得していく

黄色のサークル

からだの距離

- ・ 少し距離が近づく。
- ・ 握手やハイタッチ, 肩を叩くなど
限定的に触れることもある。
- ・ 体同士は触れない。



第2段階 行動を学ぶ

1	サークルズ®おさらい
2	赤色サークルの人との関わり方①(物理的距離)
3	赤色サークルの人との関わり方②(話すこと)
4	オレンジ色サークルの人との関わり方(対等)
5	オレンジ色サークルの人との関わり方(話すこと)
6	クラスメートと友達の違い
7	「同意」
8	実際の場面で練習しよう

第1段階 概念を学ぶ

キーワードは、

「実践的(ロールプレイ)に学ぶ」

赤色サークルの人の中で、
自分の意思とは関係なく、

何かの「共通項」を持った人は、
オレンジ色サークルになります。

オレンジ色サークルでは、

相手を選ぶことができません。

みんなにとって、「安全」「安心」な
関係性が大切です。

おすすめすること★		気をつけてすること★★	関係ができてから★★★	×しないほうがいいこと	黄色の人とすること
誰でも話しに参加できて、嫌な気持ちになりにくい話題					
天気の話しをする	季節の話しをする	休み時間に相手の趣味や好きなことについて質問する	休み時間に自分の趣味や好きなことについて話す	信仰の話しをする	相手の電話番号を聞く
ニュースの話しをする	仕事に関する話しをする	相手の家族の話しを質問する	特定のスポーツチームの話しをする	支持政党の話しをする	相手の年齢を聞く
グルメの話しをする		ファッションの話しをする *異性の時は特に気をつける	「どこに住んでるんですか？」	職場で自分の会社の愚口を言う	下ネタを言う
スポーツの話しをする				「恋人はいますか？」	職場で同僚の愚い点を話す → 同僚の愚言を言う
季節行事の話しをする EX:クリスマス、正月など			自分の家族の話しをする	過激な話しをする (死、プロテスタントなど)	相手の身体的特徴について話す・質問する
テレビの話しをする			休み時間に悩みを相談する	給料や貯金の話しをする	

